

GAKUTOのPOINT ④ キャリア教育

キャリア教育について、下に示した能力を理科で育成するため、次のような配慮をしています。

「人間関係形成能力」を育むために、本文の活動では対話を通して学びを深めています。また、巻末の「伝える・聞く」では、伝えるだけでなく聴く力を育てる内容を扱っています。

「自己理解・自己管理能力」を育むために、見通しと振り返りを繰り返しながら成長していくような構成にしています。自らの成長を自覚し、自信につながるようにしました。

「課題対応能力」を育むために、様々な活用課題を提示しています。学んだことをより深く理解するためにも、活用し生きた力になるよう狙っています。

「キャリアプランニング能力」を育むために、様々な施設の活用や仕事など、生活とのつながりを示し、将来への希望や願いをもてるようにしました。理科の内容はいわゆる科学者だけでなく、暮らしと関わる様々な職業につながっています。それらを知り、社会の一員として生きていくための目標をもつことができるようにしました。

人間関係形成能力

4年 p.189



伝えるだけでなく、相手の良さを認め、高め合えるよう配慮しました。

自己理解・自己管理能力

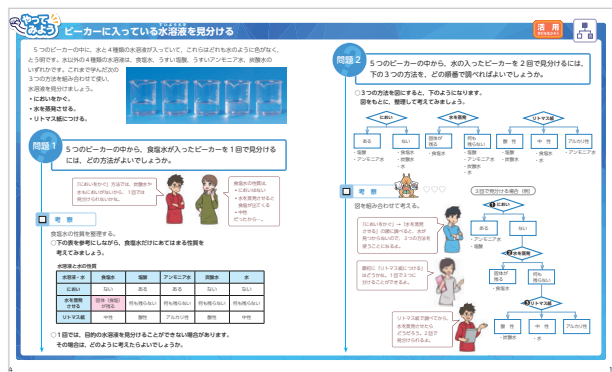
5年 p.191



振り返って自己の成長を確かめ、自信にしていけると共に、これからの学びに生かしていきます。

課題対応能力

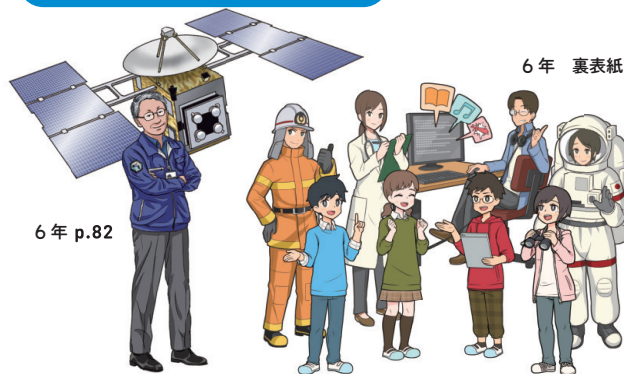
6年 p.174-175



学んだことを生かして解決する課題を通して、自ら解決しようとする心を養います。

キャリアプランニング能力

6年 裏表紙



6年 p.82

将来の夢や希望をもてるよう、学習内容と職業について関連させて示しました。